

2020

11月号

ちょうしんきん

景況レポート

Economic Report of Sales Territory



Choshi Shinkin Bank



1. 概 況

全体の景況感（全28店舗）

	好転	不変	悪化
前月と比較して	0	25	3
今後3か月程度の見通し	0	20	8

【漁業】

銚子港の令和2年10月の総水揚げ数量は1,468トンで、前月比+578トン、前年同月比+780トンとなった。総水揚げ金額は634百万円で、前月比+135百万円、前年同月比+55百万円となった。

【農業】

旭地区のキュウリ・トマトの価格相場は、以下の通り。
 キュウリ（等級：秀）1本あたり 高値50円（前月比+10円）安値10円（前月比±0円）
 トマトLMサイズ4kg当たり 高値2,200円（前月比+200円）安値500円（前月比±0円）
 需要は回復傾向にあるが、コロナ禍により生産抑制の動きがあり供給不足気味であることから、価格はやや高値の傾向にある。

【商業】

いすみ市では、大原の仕出し・料理店「おおぞね」が、同市特産のマダコを使用した「X0醬（じゃん）」を開発した。小エビや干しシイタケのうま味を加えたピリ辛の和風テイスト。社長は「ご飯や冷ややっこと相性が抜群。パスタにもどうぞ」とアピールする。


同市で水揚げされるマダコは濃い味とほどよい歯応えが特長で、県のブランド水産物に認定されている。X0醬は、市が進める美食の街づくり事業の一環で、同市大使で都内のフレンチ料理店オーナーシェフがレシピを考案。社長がこの事業に参加し、得意な和食の味わいにアレンジして今年2月に開かれた港の朝市で30個を限定発売したところ、午前8時のオープンから90分ほどで売り切れる人気だった。得意先に「X0醬」を配って率直な意見を聞き、4月には市内の酒蔵とコラボしてインターネットで限定販売。10月から同市日在（ひあり）の農産物直売所「なのはな」で650円（税抜き）で販売を始めた。

【観光業】

市原市では、コロナ禍で行事が減った県内の学校や学生の思い出づくりを応援する、小湊鉄道の「メモリアルトレインプラン」による房総里山トロッコの第1便が10月19日、白子町立白瀧小の6年生と教職員計30人を乗せて運行、子どもたちはトロッコに揺られながら秋の市原路の旅を楽しんだ。

10月下旬に予定していた修学旅行が中止となり、代替行事の一つとしてトロッコに乗車することにした。午後0時20分に上総牛久駅を出発し、児童は持参した弁当を座席で食べ、男児2人がアテンダントの案内業務を体験するなど、五井駅までの旅を思い思いに満喫した。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
				
建 設 業	観 光 業	不 動 産 業	養 豚 業	自 動 車
				

（前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。）



2. 主要業種別動向

■ 漁業・水産加工業

銚子港の令和2年10月の総水揚げ数量は1,468トンで、前月比+578トン、前年同月比+780トンとなった。総水揚げ金額は634百万円で、前月比+135百万円、前年同月比+55百万円となった。

勝浦港の令和2年10月の総水揚げ数量は363トンで、前月比▲22トン、前年同月比+236トンとなった。総水揚げ金額は139百万円で、前月比▲54百万円、前年同月比+12百万円となった。

波崎の巻き網船団は、八戸沖、釧路沖でのイカ、イワシ中心の操業であり、稼働日数は15日であった。（前年同月▲6日）八戸沖でのイカ、イワシの操業は低調に推移。北海道の漁獲権を持つ巻き網船団についても、低調に推移した。前年同月対比で数量、金額ともに大幅に減少した。北上していた船団は、10月後半よりイワシ中心からサバに切り替え、近海でのサバが水揚げされ始めた。

銚子市では、10月12日に今年初となるサンマの水揚げがあった。記録的不漁の中で、昨年の初水揚げの10分の1以下の19トンにとどまり、2倍以上の高値で取引された。今後の漁に期待が高まる一方、待ちに待った秋の味覚の到来で市場は大いに活気づいた。サンマは2倍以上の高値に当たる1キロ当たり730～632円（平均664円）で取引された。漁労長は、「明るい見通しはないが、少しでもまとまった量がとれれば」と今後の漁に期待を込めた。

銚子魚市場水揚げ高

銚子市漁業協同組合調べ

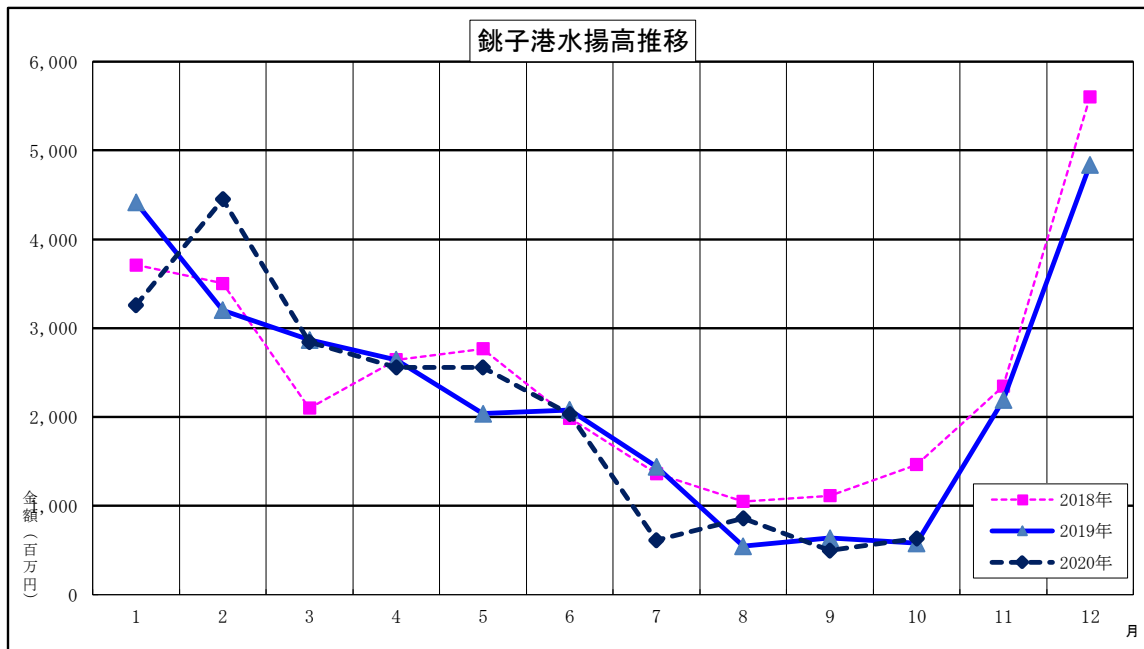
種類	区分	数量（トン）			金額（千円）		
		2020年10月	前年同月	前年同月比	2020年10月	前年同月	前年同月比
鰯		0	0	0	0	0	
鯖		523	29	494	56,207	2,848	53,359
鰹		229	39	190	53,585	8,171	45,414
鰹・鯖		249	393	▲144	269,613	428,805	▲159,192
(内鰹一本釣)		(3)	(0)	(3)	(412)	(0)	(412)
秋刀魚		58	0	58	37,697	0	37,697
底曳		115	111	4	59,482	56,540	2,942
その他		294	116	178	157,097	82,406	74,691
合計		1,468	688	780	633,681	578,770	54,911

前月比	数量	164.94%
	金額	127.07%
前年同月比	数量	213.37%
	金額	109.49%

水揚げ日数



	2020年10月	2020年9月	2019年10月
鰯	0日	0日	0日
鯖	3日	4日	3日
鰹	6日	3日	2日
鰹・鯖	19日	15日	8日
(内鰹一本釣)	1日	0日	0日
秋刀魚	2日	0日	0日
底曳	19日	14日	11日
その他	24日	23日	24日



■ 農 業

旭地区のキュウリ・トマトの価格相場は、以下の通り。
 キュウリ (等級：秀) 1本当たり 高値50円 (前月比+10円) 安値10円 (前月比±0円)
 トマトLMサイズ4kg当たり 高値2,200円 (前月比+200円) 安値500円 (前月比±0円)
 需要は回復傾向にあるが、コロナ禍により生産抑制の動きがあり供給不足気味であることから、価格はやや高値の傾向にある。

銚子地区の冬キャベツ・青首大根の価格相場は、以下の通り。
 キャベツ 買値500円、売値600円～800円 (例年通り)
 11月中旬より群馬県産、岩手県産キャベツが終了となり、その後売値は上がっていく見込み。
 青首大根 買値700円 売値1,000円 (例年通り)
 市内キャベツ及び大根は生育不良なく順調に生育している。直近2年間は作付時に台風襲来と厳しい状況であったが今期は期待が持てる。

■ 商 業

いすみ市では、大原の仕出し・料理店「おおぞね」が、同市特産のマダコを使用した「X0醬 (じゃん)」を開発した。小エビや干しシイタケのうま味を加えたピリ辛の和風テイスト。社長は「ご飯や冷ややっこと相性が抜群。パスタにもどうぞ」とアピールする。同市で水揚げされるマダコは濃い味とほどよい歯応えが特長で、県のブランド水産物に認定されている。X0醬は、市が進める美食の街づくり事業の一環で、同市大使で都内のフレンチ料理店オーナーシェフがレシピを考案。社長がこの事業に参加し、得意な和食の味わいにアレンジして今年2月に開かれた港の朝市で30個を限定発売したところ、午前8時のオープンから90分ほどで売り切れる人気だった。得意先に「X0醬」を配って率直な意見を聞き、4月には市内の酒蔵とコラボしてインターネットで限定販売。10月から同市日在 (ひあり) の農産物直売所「なのはな」で650円 (税抜き) で販売を始めた。

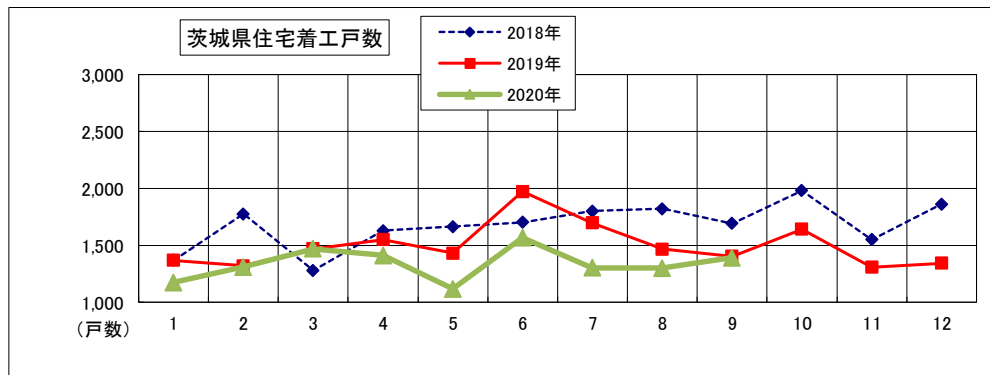
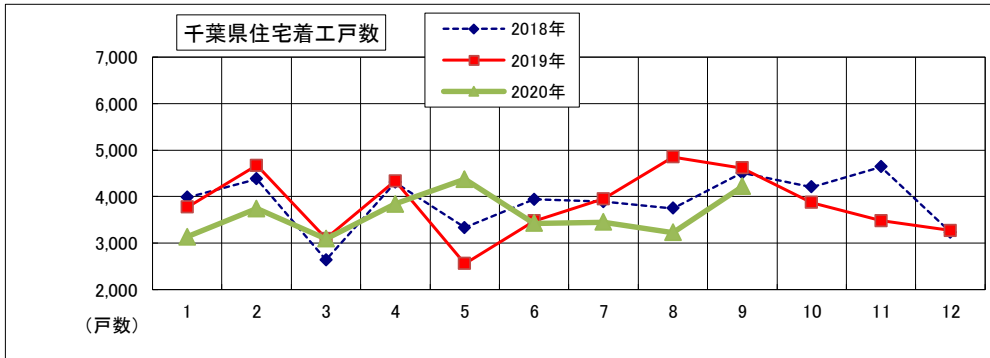
旭市では、全国有数の漁獲量を誇る千葉県産の伊勢エビを調理した給食が10月19日、同市内の小学校で振る舞われた。新型コロナウイルス感染拡大により消費が落ち込んだ食材を学校給食に活用する事業の一環で、県が無償提供した。この日は市内の2給食センターが15小学校向けに約3400食分を用意。南房総市で水揚げされた伊勢エビの半身に、旭市産のミツバやみそを加えたホワイトソースを乗せてオーブンで焼いた。子どもたちは「甘くておいしい」「ウニみたいで濃厚」と喜んで口に運んだ。同市では毎月19日を「千産千消デー」として給食に地元食材を活用しており、この日は市内で栽培されたマッシュルームやチンゲンサイを使ったスープも提供された。

■ 建設業

令和2年9月の住宅着工戸数は、千葉県で4,219戸と前年同月比91.46% (▲394戸)、茨城県では1,391戸で前年同月比99.14% (▲12戸)となった。前月(令和2年8月)比では、千葉県で+990戸、茨城県では+92戸となった。

千葉県・茨城県の住宅着工推移は以下のとおり。

	2020年9月	前月戸数	増減
千葉県	4,219	3,229	990
茨城県	1,391	1,299	92



国土交通省統計情報より

■ 観光業

市原市では、コロナ禍で行事が減った県内の学校や学生の思い出づくりを応援する、小湊鉄道の「メモリアルトレインプラン」による房総里山トロッコの第1便が10月19日、白子町立白潟小の6年生と教職員計30人を乗せて運行、子どもたちはトロッコに揺られながら秋の市原路の旅を楽しんだ。

10月下旬に予定していた修学旅行が中止となり、代替行事の一つとしてトロッコに乗車することにした。午後0時20分に上総牛久駅を出発し、児童は持参した弁当を座席で食べ、男児2人がアテンダントの案内業務を体験するなど、五井駅までの旅を思い思いに満喫した。

多古町では、10月4日に発表された「ゆるキャラグランプリ2020 THE FINAL 未来へつなく いわて幸せ大作戦!!」のご当地部門で、同町の「ふっくらたまこ」が9万8422票を獲得して8位(千葉県内1位)になった。

ふっくらたまこは、町や多古米をPRするお米の妖精。米づくり農家の夫と子どもがいる世話好きな新米かあさん。町公式LINEやフェイスブックなどのSNSや防災無線で投票を呼び掛け、8月下旬には周辺自治体を回って観光大使やゆるキャラとコラボレーションしてPRしてきた。

最後の大会で昨年の21位(1万7835票)から大躍進。町地方創生課は「投票してくださった皆様のおかげで、目指してきた上位に入った。8位になったことを自信にし、さらに露出度を上げていきたい」と話した。

■ 不動産業

千葉市では、仲介業者からの不動産物件紹介は徐々に始まっており、立地条件の良い物件は高価格で推移している。

茂原市では、コロナ禍で東京より1時間程度の広い中古物件の相談が増加している。

■ 養豚業・畜産業

令和2年10月の東京市場での豚枝肉(上)卸売価格相場は536円/kgとなり、前月比▲85円/kg、前年同月比で+35円/kgとなった。

鶏卵(Mサイズ)卸売価格は164円/kgとなり、前月比+11円/kg、前年同月比で▲40円/kgとなった。

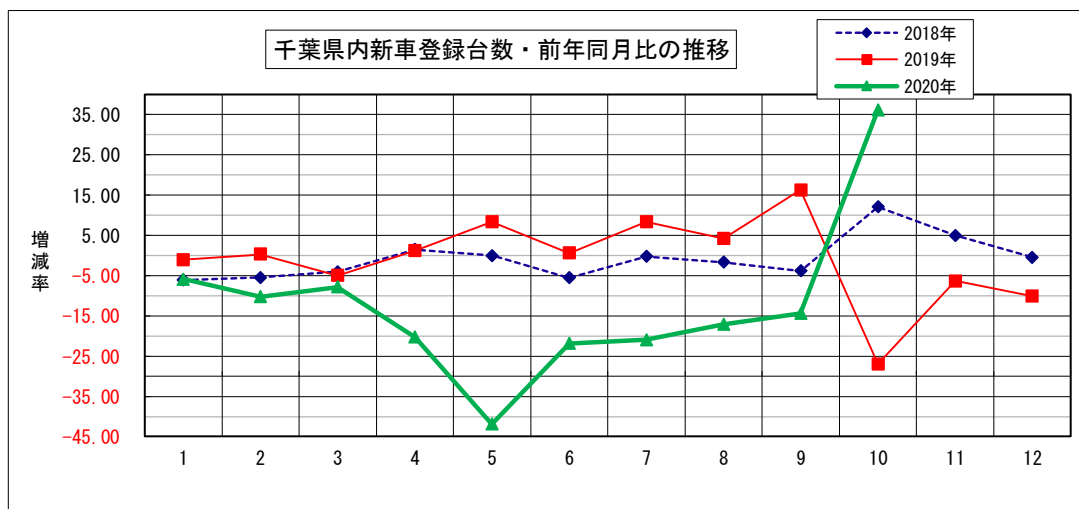
独) 農畜産業振興機構 / J A 全農たまご(株) 統計情報より

■ 自動車ディーラー

令和2年10月における千葉県内の登録車新車販売台数(軽自動車除く)は11,940台(前年同月+8,773台)で13ヵ月振りで前年実績を上回った。占拠率はトヨタが1位で50.1%、2位はホンダ12.7%、3位は日産6.5%となった。

千葉県内新車登録台数状況(軽自動車を除く)

		2020年10月	前月	前月比	前年同月	前年比
乗用	普通	6,047	6,983	86.60%	4,118	146.84%
	小型	4,233	4,710	89.87%	3,347	126.47%
	小計	10,280	11,693	87.92%	7,465	137.71%
貨物	普通	546	784	69.64%	373	146.38%
	小型	833	1,021	81.59%	687	121.25%
	小計	1,379	1,805	76.40%	1,060	130.09%
特殊等	特殊	252	339	74.34%	211	119.43%
	バス	29	38	76.32%	37	78.38%
	小計	281	377	74.54%	248	113.31%
総合計		11,940	13,875	86.05%	8,773	136.10%



3. その他の動向

求人

有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	2020年9月	前月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	0.79	0.75	0.04	1.21	▲ 0.42
茂原公共職業安定所管内	0.89	0.88	0.01	1.03	▲ 0.14
いすみ公共職業安定所管内	0.70	0.70	0.00	0.92	▲ 0.22
成田公共職業安定所管内	0.65	0.63	0.02	1.31	▲ 0.66
佐原公共職業安定所管内	0.82	0.84	▲ 0.02	1.17	▲ 0.35
千葉県	0.85	0.84	0.01	1.31	▲ 0.46

有効求人倍率＝有効求人数÷有効求職者数

ハローワーク銚子/茂原/いすみ/成田/佐原 調べ

倒産

【令和2年10月度】

2020（令和2）年10月度の企業倒産件数は18件、前月比で3件減（14.2%減）、前年同月比で1件減（5.2%減）となった。過去10年の10月単月では2017年と並んで最も少ない件数となり、当年1月からの10か月累計額については204件、前年同月比8件減となった。

産業別では『サービス業他』が7件（構成比38.9%）で最多、『小売業』が3件（構成比16.7%）と続いた。

資本金別では『1000万円以上（3000万円未満）』が6件（構成比33.3%）で最多、次いで『300万円以上（1000万円未満）』が5件（構成比27.8%）となった。

従業員別では『5名未満』が14件（構成比77.8%）で最多となり、引き続き少人数で運営される小規模事業者の倒産が目立った。

原因別では『業績不振』15件（構成比83.3%）で最多、『放漫経営』、『過小資本』、『その他（偶発的要因）』が各1件（構成比各5.6%）となった。これまで同様、業績の回復見通しが立たず、運転資金の調達が限界に達して事業継続を断念するケースが多くみられた。

倒産形態別は『破産』が16件（構成比88.9%）で最多となり、小規模事業者による倒産が多いことから、15か月連続で再生型の法的手続きは発生していない。

東京商工リサーチが実施した「新型コロナウイルスに関するアンケート調査」における千葉県内の減収企業率は5月87.5%、6月79.6%、7月79.3%、8月77.6%、9月74.3%と推移。

これまで国・自治体による各種給付金・助成金制度や金融機関による徹底した資金繰り支援策が倒産件数の抑制に一定の効果を発揮し、経済面でも「GoToキャンペーン」による観光・飲食業界向け支援も始まった。しかし、インバウンド需要の消失に対する下支えの効果としては限定的で、新規感染者数が再増加の様相を呈する中、職場クラスターの発生やコロナ禍での既存ビジネスモデルの限界など、企業を取り巻くリスクはさらに増大している。

コロナ禍初期の資金繰り支援の効果が消失しつつある中、雇用調整助成金の特例措置については延長の方向で検討が始まり、金融機関においても資本性ローンを含めた資金・財務支援を強化していくものとみられる。ただし、企業側においても、今後は各種支援を享受しながら、新しいビジネスモデルの構築や業態転換など「新しい生活様式」「ニューノーマル」下で持続可能性を高めるための変革への取り組みが重要となる。

（株）東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より

銚子市
銚子市漁業協同組合
銚子商工会議所
株式会社 東京商工リサーチ
国土交通省 統計情報
一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部
独立行政法人 農畜産業振興機構
JA全農たまご 株式会社
ハローワーク銚子
ハローワーク茂原
ハローワークいすみ
ハローワーク成田
ハローワーク佐原
(順不同)

※ その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発行；銚子信用金庫
編集；地域サポート部
住所；〒288-8686 銚子市双葉町5-5
電話；0479-21-5522
FAX；0479-24-4591
E-mail；suishin@choshi-shinkin.co.jp
URL；http://www.choshi-shinkin.co.jp

ちょうしんきん ビジネス知恵袋のご案内

「取引先事業所の成長・発展」を目的に、経営コンサルティング企業の株タナベ経営とタイアップし、みなさまのビジネスを支える多彩な情報をインターネットを通じてご提供するサービスです。

【年会費】18,700円（うち消費税1,700円）

【ご入会】当金庫取引の有無は問いません。入会申込書は、お近くのちょうしんきん窓口またはご担当の営業担当者におたずねください。

経営情報レポート

業種別・機能別・経営テーマ別に分類。
改善事例や経営ノウハウなど総数2,000種類の経営情報をご提供。

法律アドバイスネット

法律に関するQ&A4,000種類。申請書・申告書記載例300件、根拠条文も閲覧可能。

ネット経営相談

企業経営に関するアドバイスネット。FAQを50件掲載。
あらゆる経営のお悩みをご相談ください。専門コンサルタント、法律・税務の専門家がメールでアドバイスいたします。

レポート・ネット

毎月配信するリーダーズ・レポートと地域版コンサル・レポートをご覧いただけます。

**その他のコンテンツを含めて、全16の充実したコンテンツが満載！
みなさまのお申込みをお待ちしています。**